平成 26 年２月６日

各　　位

上場会社名　株式会社ファーストエスコ
代表者名　代表取締役社長　島﨑　知格
（コード番号：9514 東証マザーズ）
会社所在地　東京都中央区八重洲二丁目７番 12 号
問合せ先　常務取締役　小池　久士
（TEL.03-5299-8521）
ＵＲＬ　http://www.fesco.co.jp/

平成 26 年６月期第２四半期業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 25 年８月 14 日付「平成 25 年６月期　決算短信」にて公表した、平成 26 年６月期（平成 25 年７月１日～平成 26 年６月 30 日）の業績予想について、第２四半期業績予想と実績の差異及び通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

（1）第２四半期連結累計期間（平成 25 年７月１日～平成 25 年 12 月 31 日）業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	3,500	400	380	340	23.37
今回実績（B）	3,751	679	606	748	51.41
増減額（B－A）	251	279	226	408	
増減率	7.2%	69.8%	59.5%	120.0%	
（ご参考）前期第２四半期実績（平成 25 年６月期第２四半期）	2,661	194	79	△187	△12.89

（2）通期連結（平成 25 年７月１日～平成 26 年６月 30 日）業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	7,100	880	790	750	51.55
今回修正予想（B）	7,200	1,200	1,100	1,200	82.47
増減額（B－A）	100	320	310	450	
増減率	1.4%	36.4%	39.2%	60.0%	
（ご参考）前期実績（平成 25 年６月期）	6,063	556	483	190	13.11

１．第２四半期業績予想と実績の差異の理由

[売上高]

第２四半期連結累計期間における省エネルギー支援サービス事業では、既存のオンサイト発電事業が堅調に推移したほか再生可能エネルギーの固定価格買取制度（以下、FIT）を背景とした太陽光発電設備の設置、施工に関する売上高が伸展いたしました。グリーンエナジー事業においては、７月に白河ウッドパワー発電所が持分法適用関連会社から子会社となり、日田ウッドパワー発電所と合わせて FIT の売電が好調に推移し、第２四半期連結累計期間では、当初の予想より 251 百万円増加し 3,751 百万円となりました。

[営業利益]

第２四半期連結累計期間では、省エネルギー支援サービス事業の既存プロジェクトは大きなトラブルもなく順調に維持し、グリーンエナジー事業では、白河ウッドパワー、日田ウッドパワー発電所の稼働が順調に推移し FIT 移行により収益性が向上したことと併せ、第２四半期連結累計期間では、当初の予想より 279 百万円増加し 679 百万円となりました。

[四半期純利益]

上述の収益の増加及び白河ウッドパワーの連結に係る負ののれんの発生益等により、当初の予想より 408 百万円増加し 748 百万円となりました。

２．通期業績予想の修正の理由

[売上高]

グリーンエナジー事業の白河及び日田の２つのバイオマス発電所の上半期の売上状況を加味して見直した結果、通期では当初の予想から 100 百万円増加し 7,200 百万円となる見込みです。

[営業利益]

省エネルギー支援サービス事業のオンサイト自家発電は、下半期では一定のメンテナンス費用の増加が見込まれ収益が減少するものの、グリーンエナジー事業の白河ウッドパワー、日田ウッドパワー発電所の稼働状況が良好に進捗する見通しを勘案し、全体として当初の予想から 320 百万円増加し 1,200 百万円となる見込みです。

[当期純利益]

売上高や営業利益の増加に加え第１四半期で発生した負ののれんの発生益、減損損失により、当初の予想より 450 百万円増加し 1,200 百万円となる見込です。

３．今後の見通し

当社グループでは、昨今注目の集まっている再生可能エネルギー分野のさらなる拡充において、これまで培ったノウハウを最大限活用し業績の向上を図るとともに、社会および顧客への貢献を果たすべく鋭意邁進する所存です。

以　上